

2025 年 9 月期 修士論文の提出について

〈東アジア文化研究科〉

2025 年 9 月期修士論文提出予定者は、以下の要領を熟読のうえ、手続きをすること。

1 修士論文計画書の提出

- (1) 提出期限 2025 年 4 月 15 日 (火) 16 時
- (2) 提出先 教務センター (第 2 学舎 1 号館 1 階)
- (3) 注意事項
 - ア 提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しない。
 - イ 修士論文計画書には指導教員の承認を受けること。
 - ウ 既に提出した論文計画の変更は、これを認めない。ただし、論文提出以前においては、指導教員の承認を得て変更届 (教務センター備付) を提出することができる。
 - エ 計画書を提出したが、修士論文を提出しない場合は、教務センターにその旨を届け出ること。

2 修士論文・論文要旨の提出

- (1) 提出期間 2025 年 6 月 16 日 (月) 9 時～2025 年 7 月 15 日 (火) 16 時
- (2) 提出先 関大 LMS の「東アジア文化研究科 修士論文受付口 (2025 年 9 月期)」から電子ファイルをアップロードすること。
- (3) 注意事項 提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しない。

3 修士論文・論文要旨の提出要領

- (1) 論文 (電子ファイル) の提出について
 - ア 提出部数 論文 (電子ファイル) 1 部
 - イ 提出方法 関大 LMS の「東アジア文化研究科 修士論文受付口 (2025 年 9 月期)」から電子ファイルをアップロードすること。
 - ① ファイル形式は、PDF とする。
 - ② ファイル名は、学籍番号 (半角)_氏名 (漢字等全角)_氏名 (全角カナ) とする。
例 24M4001_関大太郎_カンダイタロウ.pdf
 - ③ 関大 LMS 上アップロードできる 1 ファイルの最大容量が 20MB のため、ファイルの容量が 20MB 以上の場合は、20MB 以下の容量になるように分割し、複数ファイルに分けてアップロードすること。
なお、最大 5 ファイルに分割し、100MB までアップロードが可能。100MB を超えるためにアップロードができない場合は、ファイルを保存した USB メモリを、学籍番号と氏名が記載された封筒に入れて教務センターに提出すること。
例 2 分割する (前半 (18MB)、後半 (12MB)) 場合、ファイル名は以下のとおりとすること。
24M1001_関大太郎_カンダイタロウ-1.pdf
24M1001_関大太郎_カンダイタロウ-2.pdf
 - ④ PDF ファイルに変換した際に、文字化け等が生じないか論文内容を各自で確認すること。
- (2) 注意事項
 - ① 提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しない。
 - ② 計画書を提出したが、修士論文を提出しない場合は、関大 LMS の「東アジア文化研究科 修士論文受付口 (2025 年 9 月期)」の中に設定されている〈修士論文の提出辞退〉からその旨を報告すること。
 - ③ 論文を PDF ファイルに変換できない場合や 1 つのファイルにまとめることができない場合は、提出期限までに教務センター庶務窓口へ申し出ること。この場合、大学にて論文 (紙媒体) をスキャニングし、PDF ファイルに変換するので、論文 (紙媒体) を 1 部、もしくはファイルを入れた USB を提出すること。なお、ファイルを入れた USB メモリやスキャニング用の論文 (紙媒体) は返却しない。
- (3) 修士論文・論文要旨の作成について
 - ア ページ設定 (横書き) A4 サイズ 40 字×36 行
(縦書き) B5 サイズ 50 字×20 行
 - イ 分量 (修士論文) 制限なし
(論文要旨) 1,000 字から 2,000 字程度
 - ウ 表紙 以下※を記載すること。
 - エ 配列 表紙・論文要旨・目次・論文の順に配列すること。

※表紙の
の様式

論 題
東アジア文化研究科 文化交渉学専攻 学籍番号・氏名

論文
目次
論文要旨
内表紙

縦書きの
場合も同
様に作成
すること

- オ 注意事項
- ① 論文・論文要旨の文字色は原則として「黒」とすること。
 - ② 添付資料が多量にあって別ファイルにする場合は、表紙に「資料」と明記し、ファイル分割による提出に準じて、ファイル名に通し番号を振ること。

4 その他

- (1) 一度提出した修士論文は、内容を変更することはできない。ただし、字句、誤字、脱字等の修正については、指導教員が許可した場合に限り認める。この場合、修士論文の口頭試問終了後1週間以内を目途に、修正した電子ファイルを関大LMSの修士論文等受付コースからアップロードすること。（指導教員から教務センターに申し入れがあれば、アップロード可能な状態に設定される。）
- (2) 審査用に紙媒体の副本の提出を求める場合がある。紙媒体の副本の提出については、指導教員の指示に従うこと。（教務センターでは受け取らない）。紙媒体で提出された副本は、審査終了後に返却する。

以 上